



## 2027年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2026年7月10日

上場会社名 株式会社スタジオアタオ 上場取引所 東  
 コード番号 3550 URL <https://www.studioatao.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 瀬尾 訓弘  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理部 (氏名) 山口 敬之 (TEL) 03-6226-2772  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2027年2月期第1四半期の業績(2026年3月1日~2026年5月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年2月期第1四半期	1,071	0.3	92	0.9	93	1.5	64	25.1
2026年2月期第1四半期	1,068	23.8	91	66.3	92	59.6	51	54.1

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年2月期第1四半期	4.65	—
2026年2月期第1四半期	3.72	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年2月期第1四半期	3,177	2,581	81.3
2026年2月期	3,182	2,586	81.3

(参考) 自己資本 2027年2月期第1四半期 2,581百万円 2026年2月期 2,586百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年2月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2027年2月期	—	—	—	—	—
2027年2月期(予想)	—	0.00	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2027年2月期の業績予想(2026年3月1日~2027年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,500	9.1	330	37.9	335	37.8	220	45.2	15.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2027年2月期1Q	14,037,000株	2026年2月期	14,037,000株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2027年2月期1Q	184,796株	2026年2月期	184,796株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2027年2月期1Q	13,852,204株	2026年2月期1Q	13,842,204株
------------	-------------	------------	-------------

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予測の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第1四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(セグメント情報等) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	6
(重要な後発事象) .....	6

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調が見られる一方で、ウクライナ情勢の長期化、中東における緊張の高まりなど、不安定な国際情勢は継続するものと予想され、依然として先行きの不透明な状況と資材高騰による物価高が続いております。

このような環境の中、当社は、「ファッションにエンタテインメントを」を理念とし、オリジナルバッグ・財布等の提供を通じて「お客様に非日常のワクワク感を提供すること」を目指し、引き続き販売促進費への投資やSNS活動の強化等を行うとともに、ATAO18周年記念プロジェクトとして投入した「SAFARILAND」シリーズなど、幅広い層へ訴求できる商品ラインナップの拡充を図ることで、新規客や男性客の取込みに貢献しております。また、2026年にブランド設立20周年を迎えることに合わせて展開している限定アイテム「ブロックパーティー・キャンディミックス」シリーズ、「SAFARILANDクラシック・チェス」が好評を得ております。更に、基幹ブランドであるATAOのブランド価値の向上、顧客サービスの強化並びに売上及び利益の拡大を図るべく、2026年4月に「ATAOあべのハルカス店」をオープンいたしました。

IANNEブランドでは、2026年3月に「ILEMER TOKYO avec le IANNE」が拡張移転し、同月より展開を開始した「グラフィティシリーズ」のアパレル関連グッズが好調に推移しており、ブランド全体の底上げに貢献しております。

また、当社ブランドのオンラインサイトが集積したモール型の新ECサイト「ATAOLAND+（アタオランドプラス）」のほか、「ATAO楽天市場支店」、「アタオYahoo!店」をオープンしたことに伴い、店舗とECのOMOが強化された結果、広告効果の改善とともに全体の売上への好影響が出ております。引き続きプロモーション等を継続し、店舗とECのOMOの一層の推進や当社が展開する各ブランド価値の更なる向上、顧客サービスの強化等図ってまいります。

ILEMERにつきましては、2025年11月より販売を開始したリトルツインスターズ 50周年を記念したコラボレーションアイテム、ILEMERブランド10周年限定ハッピードールが好評を得ており、ブランドの認知拡大にも貢献しております。加えて、2026年3月に旗艦店である「ILEMER TOKYO avec le IANNE」を日比谷シャンテ1階へと拡張移転オープンし、2026年4月に期間限定ショップ「ILEMER新宿店」を新宿マルイ本館にオープンいたしました。

その結果、当第1四半期累計期間の販売業態別の売上高は、前期に大ヒットした「ブロックパーティー・シャングリラピンク」シリーズの反動減及び前期は前々期における受注済未出荷品に係る売上が大きかったこと等によりインターネット販売が526,728千円（前年同四半期比6.5%減）となり、一方、ATAOあべのハルカス店及びILEMER新宿店の新規出店並びに移転店舗を含む既存店の売上増加等により店舗販売が544,603千円（同8.1%増）となりました。

以上により、当第1四半期累計期間の業績は、売上高が1,071,698千円（前年同四半期比0.3%増）となり、新規出店や店舗移転等に伴う一時的な費用が発生したものの棚卸資産評価損の減少等により原価率が改善したこと等により、営業利益92,760千円（同0.9%増）、経常利益93,749千円（同1.5%増）、四半期純利益64,438千円（同25.1%増）となりました。

### (2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期会計期間末の資産については、総資産は3,177,636千円であり、前事業年度末と比較して5,205千円減少しております。主な減少要因は、現金及び預金が170,123千円減少したことです。

負債につきましては、負債合計は595,723千円であり、前事業年度末と比較して382千円減少しております。主な減少要因は、未払法人税等が24,282千円減少したことです。

純資産は2,581,912千円であり、前事業年度末と比較して4,822千円減少しております。主な減少要因は、利益剰余金が4,822千円減少したことです。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年2月期の業績予想につきましては、2026年4月10日に公表いたしました業績予想から変更点はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2026年2月28日)	当第1四半期会計期間 (2026年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,821,493	1,651,369
売掛金	325,685	334,877
商品	450,932	570,839
その他	71,381	72,993
流動資産合計	2,669,492	2,630,080
固定資産		
有形固定資産	176,950	234,645
無形固定資産	2,288	2,106
投資その他の資産	334,108	310,803
固定資産合計	513,348	547,556
資産合計	3,182,841	3,177,636
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	103,923	147,011
未払法人税等	61,845	37,563
賞与引当金	—	15,107
ポイント引当金	1,878	1,807
資産除去債務	1,500	3,000
その他	342,938	297,943
流動負債合計	512,086	502,433
固定負債		
退職給付引当金	34,998	36,588
資産除去債務	49,021	56,701
固定負債合計	84,019	93,290
負債合計	596,105	595,723

(単位：千円)

	前事業年度 (2026年2月28日)	当第1四半期会計期間 (2026年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	398,961	398,961
資本剰余金	396,622	396,622
利益剰余金	1,822,696	1,817,874
自己株式	△31,545	△31,545
株主資本合計	2,586,735	2,581,912
純資産合計	2,586,735	2,581,912
負債純資産合計	3,182,841	3,177,636

## (2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年5月31日)
売上高	1,068,442	1,071,698
売上原価	342,175	311,177
売上総利益	726,267	760,521
販売費及び一般管理費		
販売促進費	239,487	196,350
その他	394,808	471,410
販売費及び一般管理費合計	634,296	667,761
営業利益	91,971	92,760
営業外収益		
受取利息	521	824
受取家賃	120	120
未払配当金除斥益	49	44
その他	5	0
営業外収益合計	696	988
営業外費用		
支払利息	330	—
営業外費用合計	330	—
経常利益	92,337	93,749
税引前四半期純利益	92,337	93,749
法人税、住民税及び事業税	46,675	33,449
法人税等調整額	△5,851	△4,138
法人税等合計	40,824	29,310
四半期純利益	51,512	64,438

## (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等)

## I 前第1四半期累計期間(自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)

当社の事業セグメントは、ファッションブランドビジネス事業のみの単一セグメントであるため、記載を省略しております。

## II 当第1四半期累計期間(自 2026年3月1日 至 2026年5月31日)

当社の事業セグメントは、ファッションブランドビジネス事業のみの単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年5月31日)
減価償却費	12,827千円	12,816千円

(重要な後発事象)

該当事項はありません。